### 2019年度

## ラダー・初心者教育内容

#### <研修目的>

ラダー・初心者の到達目標が達成できるよう、必要な知識・技術・態度を学ぶことができる。

<ダラー・初心者到達目標>

- 1. 基本的な看護実践が安全・安楽に実践できる。
- 2. チームメンバーの役割を理解し、はたすことができる。
- 3. 病院・看護部の理念を理解し、専門職業人・社会人として責任のある行動ができる。
- 4. 研修や看護実践を通して看護の技術を習得し、主体的な自己学習、自己研鑽に繋げることができる。

	4. 研修や看護実践を通して看護の技術を習得し、主体的な自己学習、自己研鑽に繋げることができる。	
時期	目標	内 容
	<看護部の理解>	講義、演習、グループワークを適宜実施
	・病院・看護部組織を知る。	・看護部の理解
	<新人看護職員研修について>	・新人研修教育計画、プリセプターシップ
	・プリセプターシップ、支援体制を理	・個人目標ファイルの活用
	解する。	・看護師としての責任
	・新人教育計画を理解し、自己の	・安全な看護の実施(安全確保、患者確認など)
	成長・目標をイメージする。	・感染管理(手指衛生、PPE など)
	<看護師としての責任>	・薬剤の基礎知識
新人研修 I	・看護専門職としての責任を理解	• 褥瘡予防
4/4 (木)	する。	・排泄援助におけるオムツの適切な使用
4/5 (金)	<安全な看護I>	・口腔ケア
4/8(月)	<ul><li>看護場面での安全管理の必要性と</li></ul>	・転倒転落予防、移乗
<3 日間>	方法を理解する。	・静脈注射の指針、法的責任について
	<感染管理 I >	・採血
	・看護場面での感染防止の必要性と	・注射(ワンショット、点滴静脈注射)
	方法を理解する。	
	<薬の知識 I >	評価:受講態度、アンケート、レポート
	・薬剤の基礎的な知識を学ぶ。	
	<看護基本技術>	
	・当院の手順に沿って看護基本技術	
	の知識・技術を確認する。	
	<看護記録>	講義、演習、グループワークを適宜実施
	・当院基準・手順に沿って、看護記	・看護必要度
	録の目的・方法を確認する。	・看護記録
新人研修Ⅱ	<看護必要度>	・電力ル操作
5/17 (金)	・重症度、医療・看護必要度の評価	・演習 一時的吸引・酸素療法…など
<1 目>	と記録方法を理解する。	・e-ラーニング
	<看護基本技術>	(フィジカルアセスメントを進める)
	・当院マニュアルに沿って、看護	(導尿、膀胱留置カテーテルの挿入と管理)
	基本技術の知識・技術を確認する。	評価:受講態度、レポート、アンケート

時期	目標	内 容
医療機器	医療機器を安全に使用するための	講義、演習 (別紙参照)
安全研修	知識を得る。	・ME センターの業務について
5月6月		・医療機器について
<pm></pm>		評価:アンケート
プリセプター	プリセプティとプリセプターが関係	プリセプティとプリセプターが、互いに成長でき信
プリセプティ	構築するためのコミュニケーション	頼関係を構築するために、話し合いや協力するワー
合同研修	をはかる。	クを行う。
6/7 (金)		
<半日>		評価:受講態度、レポート、アンケート
	1. 職場適応状況を確認する	年 2~3 回実施する(6 月、11 月、必要時)
松大丰公水	2. リアリティショックの状況把握と	
教育専従者	OJT の進捗状況把握	
面接	3. 不安・悩みの表出、	
	健康状態チェック	
	<摂食嚥下・NST>	講義、演習、グループワークを適宜実施
	・当院のマニュアルに沿って摂食嚥	・摂食嚥下訓練に関する一連のフロー
	下、NST の知識・技術を確認する。	・NST に関すること
	<安全な看護Ⅱ>	・安全な看護の実施
   新人研修 <b>Ⅲ</b>	<ul><li>看護場面での安全管理の必要性と</li></ul>	(指示受け、与薬に関わる対策など)
6/14 (金)	方法を理解する。	・薬の基礎知識
(1日)	<薬の知識Ⅱ>	(救急薬品、循環動態に影響する薬剤、
\1 p /	・ハイリスク薬剤の基本的知識を	ハイリスク薬、麻薬の取り扱い)
	学ぶ。	・3 か月のリフレクション
	<3か月の振り返り $>$	
	・自己の3か月の実践を振り返り	評価:受講態度、レポート、アンケート
	課題を明確にできる。	
外来看護研修	1. 外来で行われている看護を理解	外来での看護場面の見学・体験
7~8月中	する。	
	2. 地域で暮らす患者への継続看護	評価:終了後レポート、アンケート
	を考えることができる。	
	<輸血療法の看護>	講義、演習、グループワークを適宜実施
	・当院のマニュアルに沿って、輸血療	・輸血療法
	法の看護に関わる知識・技術を確認	(血液製剤の取り扱い上の注意点、管理法、
新人研修 <b>IV</b>	する。	実施方法、副作用時の対処)
7/19(金)	<複数患者の検温>	・「複数患者の検温」シミュレーション
<1目>	・複数患者の状態をアセスメントし、	・e-ラーニング
	優先順位を考えてバイタルサイン	(今どきのバイタルサインの評価方法)
	の観察ができる。	評価:受講態度、レポート、アンケート

時期	目標	内 容
新人研修 <b>V</b> 8/16(金) <1 日>	〈標準看護計画・共同看護計画〉・当院の基準・手順に沿って標準看護計画、共同看護計画を理解し、看護の方向性を考えることができる。 〈患者・家族対応〉・患者・家族を理解し、良好な関係構築について考えることができる。 〈感染管理Ⅱ〉・看護場面での感染防止の必要性と方法を理解する。 〈地域連携〉・地域連携〉・地域連携、他職種との協働について理解する	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・患者と共に立てる看護計画の理解 ・標準看護計画の活用と看護の評価 ・患者・家族のニーズをとらえる コミュニケーション ・感染対策 (カテーテル関連血流感染予防策など) ・多職種と協働して行われる退院支援の実際 評価:受講態度、レポート、アンケート
新人研修 <b>VI</b> 9/20(金) < 1 日 >	〈緊急時の対応〉 1. 緊急時の患者の状態をアセスメントし、優先順位を考え、助言を受けて対応ができる。 2. SBAR を用いた報告・連絡・相談ができる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・急変時シミュレーション 「転倒」「窒息」など ・救急カート、AEDの取扱い ・挿管介助、バックバルブマスクの組み立て、 意識レベル確認、気道確保、心臓マッサージ、 人工呼吸・・など ・eーラーニング (輸液管理とINOUTバランス) (新ガイドラインで読み解く心肺蘇生) 評価:受講態度、レポート、アンケート
新人研修 <b>VII</b> 10/18 (金) <1 日>	<糖尿病看護> ・糖尿病を理解し基本的看護を学ぶ。 <メンバーシップ> ・メンバーシップを理解し、チームの 一員として具体的な行動を考える ことができる。 <外来看護の学び> ・外来看護について意見交換し、継続 看護に関する気付きを共有できる。 <6か月の振り返り> ・自己の6カ月の実践を振り返り、 課題を明確にできる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・糖尿病看護の理解 ・メンバーシップの理解 ・外来看護の振り返り ・半年経過のリフレクション ・eーラーニング (見逃さない!心電図の異常波形)

時期	目標	内 容
新人研修 <b>VII</b> 11/15 (金) <1 日 >	<がん化学療法> ・当院の手順に沿って、がん化学療法看護に関わる知識・技術を学ぶ。 〈安全な看護Ⅲ> ・安全な看護Ⅲ> ・安全な看護の提供のために危険予知トレーニングで事故防止の取り組みを考えられる。 <エンゼルケア> ・当院の手順に沿って、エンゼルケアの知識・技術・態度を学ぶ。 〈検査時の看護〉 ・検査時の看護について意見交換し	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・がん化学療法看護の理解 (がん看護、がん化学療法時の観察、対応) ・KYT ・エンゼルケア (死後のケア、エンゼルケアの基本) ・検査時の看護の振り返り ・ e ーラーニング
新人研修 <b>IX</b> 1/17(金) <1日>	気づきを共有できる。  <感染管理Ⅲ> ・看護場面での感染防止の必要性と 方法を理解する。  <安全な看護Ⅳ> ・医療安全推進活動について理解し、 自己の行動を振り返り、課題を明確 にする。  <高齢者・認知症看護> ・高齢者・認知症看護> ・高齢者・認知症看護を考えられる。  <看護倫理> ・よりよい看護について考えられる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・感染防止 (疾患別予防策、ノロ、インフルエンザなど) ・安全対策(当院の傾向、医療安全の基本) ・高齢者の特徴、認知症の理解と看護 ・看護倫理の理解 評価:受講態度、レポート、アンケート
新人研修 <b>X</b> 3/13(金) <1日>	<看護体験を語る> ・自己の看護体験を振り返り、看護実践に意味付けができる。 <1年の振り返り> ・自己の1年の実践を振り返り、課題を明確にできる。	グループワーク、発表 ・自己の看護の振り返り ・自己の成長の振り返り 評価:参加態度、レポート、アンケート

## 2019年度 新人面接

目的:1. 職場適応状況を確認する

- 2. リアリティショックの状況把握と OJT の進捗状況把握
- 3. 不安・悩みの表出、健康状態チェック

時期・回数:2~3回/年 6月、11月、必要時

# 2019年度 医療機器安全管理研修

1. 目的:医療機器の適正使用に関する知識と技術の習得

2. 参加者:新卒看護師及び新入職看護師希望者

3. 会場:2階講堂4. 開催日程と内容

日時	内 容
2019年4月24日(水)	・MEセンターの業務と機器の貸出・返却について
13:15~17:00	・病院における電気と医療ガス設備、医療ガスボンベの正しい取り扱い
	・酸素療法器具の正しい取り扱いと酸素流量計の取り扱い
2019年5月10日(金)	・輸液ポンプの原理と取り扱いについて(実技)
13:15~17:00	・シリンジポンプの原理と取り扱いについて(実技)
	・生体情報モニターとパルスオキシメーターについて
2019年5月21日(火)	「原理、使用上の注意点、アラームなど」(実技)
13:15~17:00	・除細動装置の原理と正しい使い方(実技)
	・フットポンプ(深部静脈血栓症の予防)実際の装着体験
2019年6月4日 (火)	装着の原理とアラーム対応
13:15~17:00	・低圧持続吸引器の取り扱いと操作(実技)
	・マスク型人工呼吸器の原理、観察点、操作、確認